

「キッチンカフェなりひら」の営業継続を求める

議後

請願書



【請願の理由】

芦屋市民の活動拠点である芦屋市民センターの2階で、令和2年11月より「キッチンカフェなりひら」がオープンし、シルバー人材センターおよびその会員によって運営されてきました。しかし、コロナ禍による赤字などが続いていたという理由から、シルバー人材センターの理事会で議論され、令和5年5月末をもって閉店することが決定しました。

「キッチンカフェなりひら」のスタッフは、食の安全を第一に、できるだけ食材にこだわり、手作りの温かみを感じられる料理を提供してきました。メニューの研究、食材の購入等、話し合い・協力し合いながら、営業を続けてきました。ホール担当は常に笑顔での接客を第一に心がけました。今後は赤字を減らし、営業を好転させるために、スタッフが知恵を出し合い努力していきたいと考えています。

芦屋市がこれからも多くの市民に愛され、住み続けられる街であるためには、「キッチンカフェなりひら」の様な、高齢になっても生き活きと就労し、市民が集い憩う場所が必要だと考えます。

【請願項目】

- 1. シルバー人材センターが、再び「キッチンカフェなりひら」の営業を続けられるよう、スタッフを交えた話し合いの場を設けることに、芦屋市として協力をすること。

令和5(2023)年 6月 7日

芦屋市議会議長

帰山和也様

請願者

住所 芦屋市公光町 [Redacted]
氏名 キッチンカフェなりひら営業存続の会 [Redacted]
代表 廣田輝代 [Redacted]

紹介議員

川島あゆみ
中村亮介
長谷基弘